

芸術監督・斎藤 純のショートエッセイ 石神の丘から 94

オートバイで山奥の道を走っていると美しい樹肌を持った、立派な木に出会います。ブナです。

今では山奥に行かないと見られませんが、太古、東日本はブナの木に覆われていたそうです。ブナ林はキノコなど今で言う林業特産品の宝庫です。ブナ林は昆虫、鳥、ツキノワグマなどの動物たちが豊かに暮らせる場所でもありました。また、ブナ林の山から川が流れる湾は、貝類、海草類やサケ・マスなどの海産物が豊富です。川の水に養分がたっぷり含まれているからです。それらを背景に東北を中心に発展したのが縄文文化です。

縄文は我々東北人のルーツです。そういう意味では、ブナも我々東北人にとっては先祖代々のかけがえのない財産と言っていいでしょう。

ブナは山毛櫨と書きますが、木偏に無とも書きます。木材として役に立たなかったことから「木で無い」というわけです。やがて建材として、またパルプの原料として使われるようになりますが、ブナにとって最大の受難は戦後の拡大造林政策でした。スギなどの針葉樹を植林するため、ブナ林は皆伐されることとなります。これを「ブナ退治」と言い、ブナ林を根絶やしにした営林署長は出世したといえます。拡大造林が大きな失政だったことは私などよりも岩手町のみなさんのほうがよくご存じだと思います。荒れ放題の雑木林と、放置されて樹幹閉塞状態で成長の止まった植林地だらけになりました。ブナ退治には東北に対する偏見と差別があったと私は見ていますが、そのことは別の機会に改めましょう。

このように蔑ろにされてきたブナですが、今や白神山地のブナ林は世界自然遺産です。

役に立たないと蔑まされ、軽んじられてきたブナに私は何となく親近感を覚えます。すっきりと立つブナの木のノーブルな美しさにも惹かれます。ブナ林の外側にはよくシラカバが生えています。戦前に「白樺派」という文学団体がありました。シラカバのどこか異国風のモダンな容姿がその名の由来だそうです。私はそれに対抗して(笑)、「ブナ派」を名乗ることにしました。役に立たないと蔑まされてきたブナの味方だという表明です。

岩手町立石神の丘美術館では『瀬川強 イーハトーヴ西和賀 写真展』を開催中です。瀬川さんは「カタクリの会」代表、日本自然保護協会自然観察指導員として西和賀のブナ林の魅力を日本全国に広めています。写真家であり、詩人でもあります。そんな瀬川さんのことを私は最大の尊敬の念を込めて「ブナ林の番人」と表しています。当館で瀬川ワールドをたっぷり味わっていただきたいと思っています。

石神の丘美術館通信《いしび》

ishibi

2017.7 Vol.172

平成 29 年 7 月発行
発行・岩手町立石神の丘美術館
岩手県岩手郡岩手町五日市
10-121-21 〒028-4307
TEL 0195-62-1453
FAX 0195-62-1477
<http://museum.ishigami-iwate.jp/>

瀬川強 イーハトーヴ 西和賀 写真展



《錦秋鏡映す》

会 期:2017年6月17日(土)~7月23日(日)

開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)

休 館 日:7/10(月)、7/18(火)

観覧料金:一般300円/大・高生200円/中学生以下無料

岩手町の小学生対象／ようこそ美術館事業



美術館見学＋昼食＋創作体験

美術館ですぐす夏の1日

岩手町の小学生のみなさん。夏休みの1日を美術館ですごしませんか？

展示会を見学して、屋外展示場でスタンプラリー。

ランチのあとは、《光と色のファンタジー-BOX》をつくろう！

日時：2017年8月8日(火) 午前9時30分美術館集合～午後3時頃まで

集合場所：石神の丘美術館ホール

対象：岩手町内の小学生 15名

★7月26日(水)午前9時より先着順で受け付けます。

★電話(Tel/62-1453)または受付に直接申し込みください。

参加費：1,200円(保険、昼食、講座材料代)

★参加費は、8月4日(金)までに美術館へお支払いください

持ち物など：外あそびできる服装・帽子、ハンカチ、ティッシュ

水筒(肩からさげられるもの)

おもちゃなどは持たないこと、持ち物には名前をつけること

スケジュール

9:30 石神の丘美術館集合

自己紹介・グループ分け

企画展「神尾 裕展」を見学します

10:30 屋外展示場で「スタンプラリー」

ブルーベリーを味見しよう

体育協会のみなさんと運動しよう

12:15 レストラン石神の丘でランチ

13:00 美術館工房棟で創作体験

《光と色のファンタジー-BOX》をつくろう

15:00 終了

【問い合わせ・申し込み】石神の丘美術館 Tel 62-1453

協力：岩手町体育協会

神尾 裕 展

～師・吉田 清志の作品と共に～

1956年盛岡市生まれの神尾 裕(かみお ゆたか/旧姓：小鳥谷 静岡県沼津市在住)は、1990年より美術団体「春陽会」を中心に作品を発表しています。植物などをモチーフに独自のテンペラ技法を用いた作品には、日本の伝統的な飾り藁など和の要素も取り込まれており、近年はアメリカやタイでの作品発表の機会も増えています。

この展覧会では、神尾裕の作品を、日本大学芸術学部で学んで以来、師と仰いできた盛岡市出身の画家・吉田清志(1928-2010)の作品とともに紹介します。

会 期：8月5日(土)～9月18日(月・祝)

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休 館 日：毎週月曜日 *8/14(月)、9/18(月・祝)は開館

観覧料金：一般500円/大・高生300円/中学生以下無料



《藁の船》2017年 紙にテンペラ 76×56.5cm

美術館隣接 道の駅 石神の丘/レストラン石神の丘情報

道の駅 石神の丘 TEL0195-61-1600/レストラン石神の丘 TEL0195-61-1602

おかげさまで15周年 道の駅 石神の丘 開業記念感謝祭

7月22日(土)、23日(日)開催

【開催予定イベント】

- ★ブルーベリー&キャベツ収穫体験(要予約)
- ★沼宮内保育所「駒踊り」★川口きつね踊り
- ★城山保育園 園児発表
- ★なまはげ太鼓ライブ
- ★TAG さんのイラストライブ
- ★北上川清流太鼓
- ★沼宮内七ツ踊り
- ★オカリナカルテット MUSE 演奏会
- ★音を楽しむ会 演奏会
- ★野菜収穫ゲーム(くびっこ野菜釣り)
- ★おたのしみ餅まき ほか

詳しくは道の駅石神の丘へお問い合わせください

《7月22日・23日限定》 レストラン石神の丘 15周年特別限定価格

その①冷やし石神ラーメン



通常価格620円を

↓
300円(税込)

両日限定 50食

その②ブルーベリービーフカレー



通常価格750円を

↓
300円(税込)

両日限定 50食

詳しくはレストラン石神の丘へお問い合わせください